

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,212千円	1,212千円	6,736千円	0千円
	総人件費	51,996千円	51,282千円	36,630千円	
	総事業コスト	53,208千円	52,494千円	43,366千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	01	スズメバチ駆除事業	指標名	蜂の駆除件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	蜂の駆除件数					
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		目標値	-	-	-	-	-
総合戦略	-	-	-	-	実績	469件	717件	551件					実績					
個別計画	-		改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-					
根拠法令等	-		改善目標	危険性が伴うため安全に駆除することができるよう細心の注意を払い実施する。蜂駆除を職員自ら行うのには限界があり危険を伴うことから、専門業者への委託等を検討していく。				改善目標				依頼者に迅速に対応できる電話受付等の体制の確立を図る。						
事業分類	A	任意的事業	事業計画	細心の注意を払い、安全に実施する。また、駆除する時期が主に盛夏となることから水分補給等にも心がけ実施する。蜂駆除は、職員の生命に関わる危険性の高い業務であるため、蜂駆除を専門とする民間業者への委託に向け調査等実施し検討する。				事業計画				職員による電話受付、現地調査等を迅速に行い依頼者の満足度の向上を図る。						
執行体制	職員のみ		活動実績	蜂駆除作業は、夏場の猛暑により蜂の活動も活発化し、毎日十数件の作業となった。本来、駆除作業を行わないアシナガバチ等とスズメバチとの判別が、不明との市民からの依頼に応えるため、確認作業等が必要となった。蜂駆除依頼は605件(617箇所)で、うち551箇所について駆除を行った。また、66箇所については、高所や天井裏などの作業の出来ない場所であったので、専門業者を紹介した。				上半期活動実績				-						
事業の目的	スズメバチを駆除することで、市民の安全・安心を確保するため。		成果	立合人となる依頼者の都合による日程のずれ以外、ほぼ24時間以内の対応ができた。				上半期成果				-						
事業の概要	市民からの駆除依頼に対し、直ちに現場に急行し駆除を実施する。		課題	スズメバチ駆除業務を業者委託するにあたり、依頼者に従来通りの迅速な対応をとれるかが課題となる。				課題				-						
ISO 14001	H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠							
	H29環境関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度の方向性							
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		理由							
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,212千円	1,212千円	6,736千円	0千円
	総人件費	51,996千円	51,282千円	36,630千円	
	総事業コスト	53,208千円	52,494千円	43,366千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名		02 市道の簡易補修事業		指標名	道路の簡易補修				指標種別	活動結果指標		指標の概要	道路の簡易補修				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略		- - - -		実績	260件	584件	309件					その他の指標	-				
個別計画		-		H28年度				H29年度									
根拠法令等		-		事業計画	市民等からの通報や要望、また、市道パトロールにより補修する。				事業計画	交通量の多い路線は、作業人員と通行車両の安全確保のため人員を配置していく。関係課と連携し進める。							
事業分類		A 任意的事業			改善目標		-			改善目標		-					
執行体制		職員のみ		活動実績	-				上半期活動実績	-							
事業の目的		市道の破損箇所の道路補修を実施し、パンクや事故等を未然に防ぎ道路の安全確保を図る。			素材251袋を使用し、309箇所を補修した。					-							
事業の概要		道路補修については、破損箇所に常温合材を投入し、歩行者や車両の安全を確保する		成果	要望箇所や蜂駆除作業時に発見した道路についての補修は完了した。				上半期成果	-							
ISO 14001		地球温暖化の防止 達成			事業の進捗状況		達成			改善目標の進捗状況		-		H30年度当初積算根拠	-		
H28環境関連性		道路の補修をすることにより、走行が円滑になりCO ₂ 排出削減になる。		有効性		中：適切な成果が得られている		事業の進捗状況		-		H30年度の方向性	理由 -				
H29環境関連性		道路の補修をすることにより、走行が円滑になりCO ₂ 排出削減になる。		効率性		中：適切な費用対効果が得られている		改善目標の進捗状況		-							
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,212千円	1,212千円	6,736千円	0千円
	総人件費	51,996千円	51,282千円	36,630千円	
	総事業コスト	53,208千円	52,494千円	43,366千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	03	市民からの要望等への対応(道路スズメバチ以外)	指標名	蜂以外の対応件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	蜂以外の対応件数
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
総合戦略	-	-	-	実績	95件	82件	77件					その他の指標	-
					H28年度				H29年度				
個別計画	-	-	-	改善目標	-				改善目標	-			
					事業計画	通報のあった場所の状況を確認し、処理できるものと担当課へ依頼するものを速やかに区別し実施する。				事業計画	通報のあった場所の状況を確認し、処理できるものと担当課へ依頼するものを速やかに区別し実施する。関係課と連携し進める。		
根拠法令等	-	-	-	活動実績		電子メールや電話などの要望について、現地の状況を確認し関係部署への連絡や簡易な作業を行った。苦情や依頼は77件で、60件は関係各課に依頼し、5カ所の除草や12カ所の倒木処理を行った。					上半期活動実績	-	
					事業分類	A	任意的事业業	成果	通学路のうち、早急に除草作業の必要であった場所を5カ所を除草し、道路維持課からの要請により12カ所の倒木処理をした。				上半期成果
執行体制	職員のみ	課題	-						課題	-			
			事業の目的	通学路や市道の歩道・交差点などの除草作業を行い、歩行者や通行車両の見通しを確保し、通行者の安全を確保する。				事業の概要		通学路等の除草作業を行う。			
ISO 14001	H28環境関連性	-				H29環境関連性	-						
		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-						
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	内訳		事業費(A)		0千円	0千円	0千円	0千円
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳		人件費(B)		7,428千円	7,326千円	7,326千円	
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳	正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人		
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳		臨時職員等		無	無	無	
一般財源		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳		事業コスト(A+B)		7,428千円	7,326千円	7,326千円	
H30年度当初積算根拠		-											
H30年度の方向性		-	理由	-									